



千葉県障害者就業・生活支援センター 連絡協議会だより

《発行元》
千葉県障害者就業・生活支援センター
連絡協議会 会長 藤尾 健二



会長挨拶

早いもので、平成27年度も残すところわずかとなりました。この一年間は当連絡協議会の在り方、方向性を再確認すべく様々なことに取り組んで来ました。関係機関との連携、特に『定着支援における連携の在り方』について検討することを目的として、特別支援学校就労支援コーディネーター連絡会（千葉県教育庁特別支援教育課）との意見交換や、千葉県特例子会社連絡会の研修における話題提供・意見交換などを行いました。また、厚生労働省から発信された『障害者就業・生活支援センター事業における委託費の取り扱いに関する質疑応答』をきっかけに、現在の本事業における課題や問題点を協議、精査すべくワーキンググループを立ち上げ、現在も検証を続けています。さらに12月には、当協議会初の取り組みとして、制度施策部会が計画した『大阪地区視察』を実施し、当連絡協議会の在り方を検証すべく、他地域の連携を視察するという試みで大きな気付きを得ることが出来ました。

本年度初めて受託した「精神障害者等向け実践能力習得コースの訓練設定支援事業」においては、多数の企業開拓に成功し、当初の目的であった「全県下」における事業実施につなげることが出来ました。

平成28年2月には、「平成27年度千葉のちから 中小企業表彰」表彰式において当連絡協議会が推薦した、大網白里市の「大里綜合管理 株式会社」が表彰されました。これまで障害者雇用企業に留まっていた当連絡協議会を広く広報する良い機会になりました。また、障害者雇用が企業表彰の対象となることを伝える機会になり、今後も協議会として発信を続けていくことが重要だと考えます。

このほかにも各部会の取り組み、さらには「障害者就労促進チャレンジ事業」など当協議会の取り組みや求められる役割は増す一方です。しかし、これらの取り組みは結果としてより良い協議会運営、障害者就業・生活支援センターの運営、さらには働く障害者の充実した生活を支えることへと繋がります。

私たち協議会が進む道に前走者はいません。関係するすべての皆様からご指導・ご助言が今後の道標になります。皆様からのご意見をしっかりと受けとめ、一步一步着実に進んでまいります。今後とも当連絡協議会に忌憚ないご意見をいただき、育てていただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 会長 藤尾健二



表彰された大里綜合管理株式会社 野老社長

千葉県特例子会社連絡会主催研修報告

2月18日、千葉県特例子会社連絡会が主催する研修に当連絡協議会から15名が参加させていただきました。

研修では、特例子会社とナカポツセンターが連携する事で、働く障害者がよりよい就業生活を送る事が出来たという成功事例の発表、ちばぎんハートフル株式会社とふる里学舎地域生活支援センターから生々しい問題や解決までの流れについて話がありました。

次に当連絡協議会の藤尾会長から、企業とナカポツセンターのそれぞれがすべきこと、今後のあるべき姿について情報提供がなされ、その後パネルディスカッション形式で意見交換を行いました。

意見交換の中で特例子会社側からは「会社だけで解決できない事、家庭での問題についてはナカポツセンターにも関わってほしい」、ナカポツセンター側からは「増え続ける登録者数



に対し、各ナカポツセンターは限られた職員で運営している。定着支援は出来るが、雇用管理に関わる最低限の事については、雇った側の責任として会社で解決してもらいたい」という熱い議論が交わされ、最終的にはケースバイケースで相談しながら支援していきましょうという事になりました。

その後の懇親会でも雰囲気良く意見交換出来、新米センターの私たちはいい刺激を受ける事が出来ました。ありがとうございました。

障害者就業・生活支援センター ピア宮敷 板倉 勇樹

平成27年度制度施策部会 先進視察研修

～大阪府障害者就業・生活支援センター連絡協議会編～

制度施策部会では、平成27年12月16日～17日に亘り、「大阪府障害者就業・生活支援センター連絡協議会」をはじめ、「特定非営利活動法人すいたの輪HAPPY&SMILE」「社会福祉法人つながり」に藤尾健二会長を団長に据えた4名で視察に行ってきましたので報告します。

大阪府障害者就業・生活支援センター連絡協議会（以下、大阪府連協）は18センターで運営され、ナカポツセンターのほかに、大阪府、労働局、障害者職業センターなどの関係機関からも出席、定例会は毎回50名を超える出席者で実施される大規模な協議会です。

今回前半に行なわれた情報共有の際に、藤尾健二会長が当連絡協議会の取り組みや、行政や関係機関との係わり方、情報発信や意見交換などについて報告をしました。会場から当連絡協議会の運営費（会費徴収のコンセンサス）や行政からの事業受託のプロセスについて質問が出たところ考えると、当連絡協議会のシステムや事業所間のつながりは、やはり千葉県は独自のものであり強みである事を再認識するいい機会となりました。

一方で必要な取り組みは行政に頼らず、先ず自分たちの手で進めていこうという姿勢には大阪府連協の独自性を感じました。

後半はブロックに分かれてのグループディスカッションとなり、4名の視察者はオブザーバーとして参加しました。大阪府連協では定例会でのグループディスカッションに加え地域毎にブロック会議を開催されているという事で、社会資源や企業数等の様々な面で地域差がある千葉県においても各地域における情報共有や課題抽出という点で有効な取り組みになると感じました。

なお以下に視察団長 藤尾の報告も掲載いたします。

今回の視察、大阪府連協の定例会に参加した所感を以下の3点にまとめました。

①大阪府連協はナカポツセンターのみでの構成ではない。

大阪府は行政主導で展開されてきた経緯を踏まえると自然とも感じられるが、千葉県とは違う協議会運営の手法に新たな気づきが得られました。ちなみに当連絡協議会はナカポツセンター主体の取り組みとなっています。

②ブロック会議が地域ごとに活発に活動している

当連絡協議会では「役員会」「定例会（総会）」「連絡調整会議」という会議構成のみとなっていますが、大阪府連協ではブロック会議が地域毎に行なわれています。

地域によって状況が異なり、それぞれの課題や強みを持っており、それらを身近なセンター同士が協議することは「地域づくり」の視点からも非常に有効であると感じました。当連絡協議会でも地域性を活かすという点において、また移動の負担を軽減するという点でも今後検討に値する取り組みであると考えられます。

③千葉の連絡協議会を振り返って

当連絡協議会は行政機関としっかりと意見交換してきた歴史があります。上手く連携する事を重視するあまり本来必要な支援や内容とは異なった方向に進む事が無いよう、今一度方向性を見直すことが必要だと再認識しました。「上手く連携する事」と「本当に必要な事はしっかりと議論する」事の両立が、今後協議会には求められると考えました。



最後に今回の視察を実施に関し、見学先の設定やスケジュール提案を頂いた大阪府障害者就業・生活支援センター連絡協議会長兼社会福祉法人ぶくぶく福祉会 すいた障がい者就業・生活支援センターSuitableセンター長 井上正治様、同副センター長豊田真輝様をはじめ、大阪府障害者就業・生活支援センター連絡協議会の皆様には、大変ご尽力をいただきましたことを、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

制度施策部会長 山本 樹

中央セミナー報告

平成28年2月10日に「雇用企業に学ぶ障害者雇用促進セミナー」が当連絡協議会主催できぼーる11階大会議室で開催しました。14社16名の雇用検討中の企業の方々と支援者約20名の方々に参加いただきました。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の金丸様より「障害者雇用納付金制度に基づく各種助成金の説明」を頂いた後、ビック・ハート柏の佐藤より「障害者就業・生活支援センターが行う支援内容について」、そして基調講演として精神障害者雇用で全国的に注目されているスターティア株式会社の飯田様から「障害者は戦力になる！～雇用企業からの発信～」という3つのテーマで話を頂きました。

飯田様の経験談は、うまくいっているように見えて、実は様々な試行錯誤があった事や、ナカポツセンターを含む支援機関の有効的な活用方法等が先駆者の声として伝えられました。セミナー最後の質疑応答の時間は、参加企業の方々から、具体的なアドバイスを求める声や、採用時にどういったポイントで採否を考えているか等の質問や感想から、採用や定着、社内調整、現場理解等に対して心配や不安を少なからず抱えている様子も伝わってきました。

2018年4月からは精神障害者の雇用義務化も控えています。今回のセミナーを通して、多くの参加企業の皆様が障害者雇用を考える上で、どんな準備や対策をすれば、良い雇用、そして定着に繋がるかを改めて考えてもらう機会になったのではないかと思います。

障害者就業・生活支援センター千葉障害者キャリアセンター 向日 宏一

障害者就労促進チャレンジ事業報告

○企業等の理解促進

企業向け見学会

計6回46社、22機関に雇用率を達成している職場を見学していただき、現時点で9社が新たに障害者雇用を開始されました。(右図A)

法定雇用率未達成企業相談会

計6回54社、29機関に障害者が訓練している現場を見学していただき、現時点で3社が新たに障害者雇用を開始されました。(右図B)

○障害のある人等の意識改革

計3回58名の障害当事者に、一般就労されている障害当事者の仕事ぶりや企業の様子を見て頂きました。(右図C)

○短期職場実習

企業側と障害がある人への「働く」ことへの理解を深めるため、79社で93名の方が実習され、51名が就職に繋がっています。

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会事務局
本郷宏治

A 企業向け見学会		
海匠圏域	6月22日	朋和産業(株)にて開催
香取圏域	9月3日	(福)東総あやめ会にて開催
印旛圏域	10月30日	(福)まごころにて開催
市川圏域	12月4日	TDK(株)にて開催
長生圏域	1月22日	伊勢化学工業(株)及び(株)大塚商会ホテル一宮にて開催
市原・夷隅圏域	2月22日	(福)佑啓会にて開催

B 法定雇用率未達成企業相談会		
君津圏域	10月30日	(株)サニクリーンにて開催
山武圏域	11月13日	パンキンハウスにて開催
習志野圏域	12月1日	シャネル(株)にて開催
柏圏域	12月4日	わたげワークスにて開催
千葉圏域	2月10日	きぼーるにて中央セミナーとして開催
船橋圏域	2月24日	(福)大久保学園にて開催

C 障害者向け見学会		
野田圏域	9月16日	SUMCOサポート(株)にて開催
安房圏域	11月27日	(株)万喜にて開催
松戸圏域	1月18日	(福)六高台福祉会松戸松寿園にて開催

平成27年度「精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先開拓業務事業」実施状況報告

この事業は、精神障害者等の雇用実現に向けた効果的な職業訓練の機会を確保するために県が実施する障害者向け委託訓練のうち、千葉県立障害者高等技術専門校が実施している「実践能力習得訓練コース（企業実践コース）」について、精神障害者等の特性を踏まえた訓練受託先の開拓を行うとともに、障害者職業訓練コーディネーターと連携しながら、職業訓練の設定支援を推進するものです。

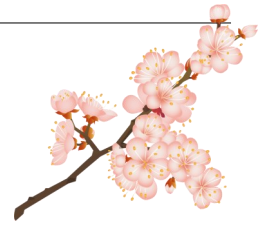
今年度、県より千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会として、事業を委託され活動した状況（実績）を報告いたします。

平成28年2月19日現在で、受託企業の開拓件数は23件。訓練実施は14件でした。年度末の実績見込数は、受託企業の開拓件数25件、訓練実施17件を今年度中に修了する予定です。目標に掲げた訓練実施数20件には至りませんでした。連絡協議会として初めて取り組んだ事業として訓練先の受託企業を25件開拓できた事は、各センターが尽力した成果だと思えます。

次年度も同事業を受託する予定ですが、今年度の経験を元に、精神障害者の就労支援に活用できる制度として連絡協議会一体となって推し進めてまいります。

障害者就業・生活支援センター山武ブリオ 就業支援担当 中村 秀隆

ワーキンググループ報告



特別支援学校ワーキンググループについて

特別支援学校のみならず高等学園が増え、卒業生（就職者）も増えていく中で、障害者就業・生活支援センターの支援に結びつくケースが多くなっており、これまでの特別支援学校との連携の中において曖昧になっていた事をできれば明確にしていければと考えています。

センター登録の時期や方法、また移行支援会議をしていく中で、重要な生活支援ニーズの引き継ぎ方法、開催時期のタイミングの統一化、アフター支援を行う際のケース移行のタイミング、これらは学校によって異なっているため統一していくことは可能か。登録する前の障害者就業・生活支援センターの説明会についても、学校単位ではなく圏域単位での開催するのはどうか等、今後も卒業生（就職者）の支援を行うにあたり、学校側との意見交換を重ね、より良い定着が行え、スムーズに学校側と連携し、支援センターとしての理解を深めてもらうために、意見交換を重ねていきたいと思ひます。

障害者就業・生活支援センターいちされん 西村拓士

雇用安定等事業 委託費に関するワーキンググループについて

千葉労働局より各センター宛に通達された雇用安定等事業における委託費の考え方について、それぞれのセンター（法人）としての意見もあるのではないか？ということで、協議会の定例会において確認を図り、ワーキングという形での議論する場を設置いたしました。

10月15日（木）7名により意見交換を実施しました。要望として4件（携帯電話、インフルエンザの予防接種、特定の団体の年会費、リース車に係る任意保険料）、確認事項としてはセンター登録者の損害保険加入について個別ではなく、団体としての加入が可能とされるのか？また、その他意見交換においては、消耗品の購入についての細かい内容について、「就労現場ではなく別の場所で定着に関する相談に応じることが基本である。」という項目の「基本」という表現について理解しがたいことなど議論しました。

27年度に於いては一度の開催でしたが、28年度はワーキンググループと制度施策部会との協同により議論を重ね、年度内には労働局に提言していきたいと思ひます。

障害者就業・生活支援センター東総就業センター 辻内理章



障害者就業・生活支援センター 一覧

名称	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
障害者就業・生活支援センターあかね園	275-0024	習志野市茜浜3-4-6	047-452-2718	047-408-1050
障害者就業・生活支援センター千葉障害者キャリアセンター	261-0002	千葉市美浜区新港43番地	043-204-2386	043-246-7911
障害者就業・生活支援センタービック・ハート柏	277-0005	柏市柏1-1-11ファミリかしわ3F	04-7168-3003	04-7168-3006
障害者就業・生活支援センター東総就業センター	289-2513	旭野中3825	0479-60-0211	0479-60-0212
障害者就業・生活支援センターふる里学舎地域生活支援センター	290-0265	市原市今富1110-1	0436-36-7762	0436-36-7612
障害者就業・生活支援センター就職するなら明朗塾	285-0026	佐倉市鎌木仲田町9-3	043-235-7350	043-235-7351
障害者就業・生活支援センター山武プリオ	299-3211	大網白里市細草3221-4	0475-77-6511	0475-77-3399
大久保学園 障害者就業・生活支援センター	274-0054	船橋市金堀町499-1	047-457-7380	047-457-7131
障害者就業・生活支援センター中里	294-0231	館山市中里291	0470-20-7188	0470-28-2080
障害者就業・生活支援センターエール	292-0067	木更津市中央1-16-12サンライズ中央1F	0438-42-1201	0438-25-5250
障害者就業・生活支援センタービック・ハート松戸	271-0047	松戸市西馬橋幸町117ロザール松戸109号室	047-343-8855	047-343-8860
障害者就業・生活支援センター香取就業センター	287-0101	千葉県香取市高萩1100-2	0478-79-6923	0478-75-1688
障害者就業・生活支援センターピア宮敷	299-4505	いすみ市岬町岩熊138-10	0470-87-9631	0470-87-8112
障害者就業・生活支援センター長生プリオ	297-0012	茂原市六ツ野2796-40	0475-44-7797	0475-44-7798
障害者就業・生活支援センターいちされん	272-0026	市川市東大和田1-2-10市川市分庁舎C棟内	047-300-8630	047-300-8631
障害者就業・生活支援センターはーとふる	278-8550	野田市鶴幸7-1野田市役所内1階	04-7124-0124	04-7124-0124

編集後記・広報部会より

桜のつぼみも膨らんで春を感じる季節なり、今年度もあつという間に終わってしまうと反省？する今日この頃。本号でもお伝えしているように、当連絡協議会は今年度も新規事業や関係機関との連携を活発に行ってきました。そんな活動を広報部会では広報紙やホームページにて、ご紹介させていただいておりますので、今後ともご覧いただければ幸いです。

広報部会長 杉村 利之

事務局

名称：千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会
障害者就業・生活支援センター
ふる里学舎地域生活支援センター
住所：千葉県市原市今富1110-1
電話：0436-36-7762
FAX：0436-36-7612
E-mail：fgakusya-shien@abelia.ocn.ne.jp
ホームページ：http://www.chiba-centernw.com/

